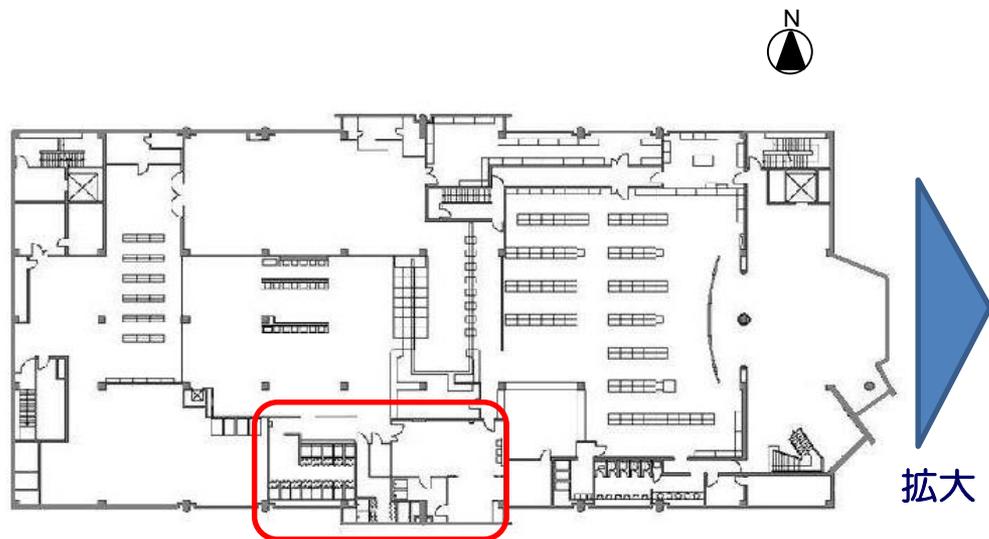


プレス公表（運転保守状況）

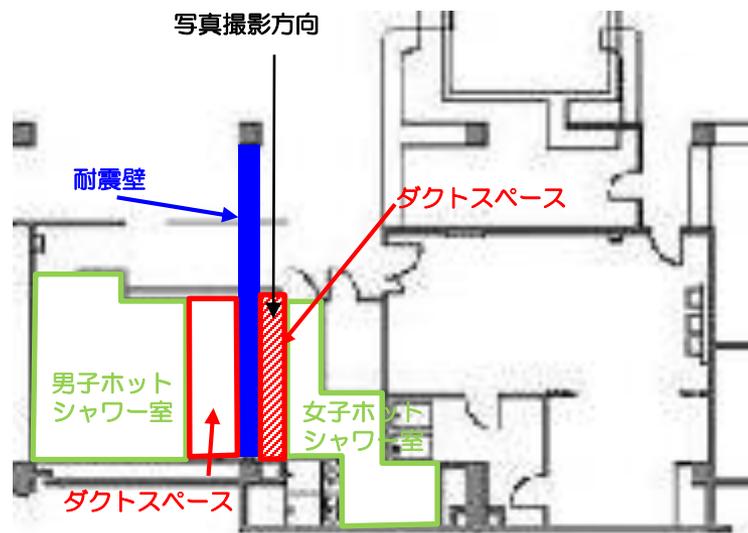
2022年1月13日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

発生日	2021年12月9日		
号機	6/7号機	件名	サービス建屋 1階 シャワーエリア（管理区域）における水の漏えいについて（区分:Ⅲ）
<p>【事象の発生】</p> <p>2021年12月9日、建屋の水を排水するピットのポンプが連続運転していることから、流入源の調査を実施したところ、サービス建屋のシャワーエリアからの流入であることが判明しました。</p> <p>このため、シャワーエリア付近を調査したところ、シャワー室外に少なくとも225リットル（150cm×150cm×10cm）の水が漏れ出していることを確認しました。漏れた水は、生活用水（シャワー水）であり、水の供給元弁を閉めたことで漏えいは止まっております。なお、漏えいした水から放射性物質は検出されておらず、外部への放射能の影響はありません。</p> <p style="text-align: right;">（2021年12月9日にお知らせ済み）</p>			
<p>【調査結果】</p> <p>調査を実施したところ、以下を確認しました。</p> <p>① <u>・2020年3月、6/7号機サービス建屋の耐震性を強化する工事において、1階男子ホットシャワー室内に耐震壁を設置するため、耐震壁と干渉する位置にあった給水配管を切断し、切断箇所を止水プラグで塞ぎました。2021年11月、別の給水設備改修工事を行った際に給水弁を誤って開けてしまったため、継続して水が当該配管に流入し、止水プラグに水圧がかかる状態となっておりました。その結果、12月9日に給水圧力に耐えられなくなった止水プラグがはずれ、漏えいに至りました。</u></p>			
<p>【原因】</p> <p>調査結果から、以下の原因と推定しました。</p> <p>① <u>別の給水設備改修工事を行った際に、給水弁を誤って開けてしまったこと。</u></p> <p>② <u>給水弁が閉状態であることを前提としていたため、当該配管への水の流入は想定しておらず、非耐圧の止水プラグを設置していたこと。</u></p>			
<p>【対策】</p> <p>原因をふまえ、以下の対策を実施します。（2022年1月完了予定）</p> <p>① <u>誤って弁の開操作ができないよう、当該の弁を針金またはチェーン等で固定するとともに、注意喚起の表示を行うこととします。</u></p> <p>② <u>給水圧力に耐えられる止水プラグに交換を実施します。</u></p>			

【参考】6/7号機サービス建屋 1階 シャワーエリア（管理区域）における水の漏えいについて



[6/7 サービス建屋 1階]



[漏水箇所平面図]



[漏水箇所写真]



[今回外れた止水プラグ]
(非耐圧用)
(0.12MPa)



[今後付ける止水プラグ]
(耐圧用)
(2.0MPa)

※給水圧力(0.26MPa)

プレス公表（運転保守状況）

発生日	2021年12月21日		
号機	6/7号機	件名	廃棄物処理建屋（管理区域）におけるけが人の発生について（区分:Ⅲ）
<p>【事象の発生】 2021年12月21日午前10時22分頃、廃棄物処理建屋地下3階（管理区域）において、協力企業作業員1名が、鋼材運搬中に転倒し、運搬していた鋼材に右足をぶつけ負傷（出血）したため、業務車にて病院へ搬送しました。 なお、本人は自力歩行が可能で、身体汚染はありません。</p> <p>【対応状況】 病院での診察の結果、右第4趾（右足薬指）末節骨骨折、右第4趾表皮剥離と診断され、患部の止血および固定の処置をしております。 今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。</p>			
②	(2021年12月22日にお知らせ済み)		

【参考】プレス公表 継続対応件名リスト

号機	—	件名	7号機ガスタービン発電機車からの油漏れについて（区分:Ⅲ）	発生日	2021年5月12日
----	---	----	-------------------------------	-----	------------